

演題名	しおんにおける経費削減を行う		
施設名	介護老人保健施設しおん	(ふりがな) 発表者(職種)	(さとう ゆり) 佐藤 由利(介護福祉士)
(ふりがな) チーム名	(はいせついいんかい) 排泄委員会		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組種別	問題解決型		
改善しようとした 課題	オムツの使用量を減少させる		
改善の指標と その目標値	(指 標) ・R6年1月～6月のオムツ類総使用量、前年度同期間比較で-5% (目標値) ・総使用量60300枚		
実施した対策	①オムツ適正サイズの周知、指導 ②オムツ類の吸収量や性能についてマニュアルに基づいての周知指導 ③ユニット内のパッド使用表の見直しと更新、PCデータのチェック		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) ・R5年1月～6月使用枚数 63500枚 (実施後) ・R6年1月～5月使用枚数 56600枚 (7月1日時点での目標枚数60300枚をオーバーの見込み)		
歯止めと 標準化	①標準化 ・ユニット居室担当が使用パッドやチェック表を更新する ②管理の定着 ・排泄委員が月に1回PCデータと照合を行う ③教育 ・排泄委員が入職時、もしくは年に1回研修資料を基に教育を行う		
活動の種類 ※複数選択可	③テーマに合わせて形成したチーム活動	チーム メンバー (職種)	1 今野 智裕 介護福祉士
活動の場 ※複数選択可	②支援部門 ③管理部門		2 兼平 翔樹 CW
活動期間	令和6年1月～6月		3 小野 真琴 介護福祉士
リーダー名 (職種)	桶谷雅志(介護福祉士)		4 佐藤 由利 介護福祉士
活動回数	6 回		5 桶谷 雅志 介護福祉士
			6
		7	
		8	
		9	
		10	
		11	
		12	
		13	

しおんにおける経費削減を行う

チーム：排泄委員会

発表者 佐藤由利

メンバー

兼平翔樹 小野真琴 今野智裕 桶谷雅志

テーマの選定

	使用金額合計 (R5 1月～6月)
オムツ	★ ¥ 2,854,845
グローブ	¥ 738,340
ガウン	¥ 292,266

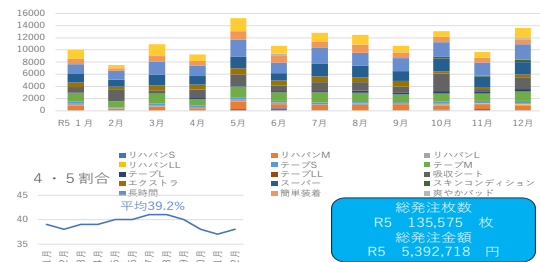
【テーマ選定】

医療消耗品の中から金額的に大きな比重を占めるオムツについて、その経費節減にむけたTQMを実施することとした

活動計画

活動内容	担当者	1月	2月	3月	4月	5月	6月
テーマの選定		計画	実施				
現状把握			計画	実施			
目標設定				計画	実施		
要因解析					計画	実施	
対策立案						計画	実施
対策実施							計画
効果確認							計画
書止めと標準化							計画
まとめ							計画

現状把握



【活動計画】

令和6年1月～6月まで活動を実施した。

【現状把握】

R5年1月～12月までのオムツ発注枚数が135575枚、発注金額が5392718円
重症度合いの目安となる4・5割合平均は

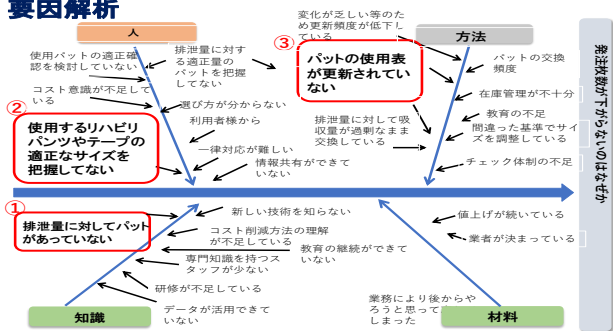
目標設定

何を	R6年1月から6月までのオムツの総発注枚数を
いつまでに	令和6年7月1日時点で
どうする	同期間の前年比-5%を達成する (総発注枚数 60,300枚以内)

【目標設定】

R6年1月～6月までのオムツ総発注枚数を7月1日時点で同期間の前年比-5%(60300枚)以内を達成する
値上がり予測が難しいので金額ではなく発注

要因解析



【要因解析】

フィッシュボーンを使用し

- ①排泄量に対しパッドがあてがない
- ②使用するリハビリパンツやテープの適正なサイズを把握していない
- ③パッドの使用表が更新されていない

重要要因の検証

重要要因	検証	結果・分かった事	判定
① 使用するリハビリパンツやテープの適正サイズを把握していない	ユニット職員に対してオムツ及びリハビリパンツのサイズの基準について聞き取りを実施	アウターについての適正サイズ判断方法がバラバラで判断している職員が多かった	○
② 排泄量に対してパッドがあてていない	各パッドの吸収量を把握しているかの聞き取りを実施	吸収量について理解している殆どおらず、皮膚状況に対応したパッドの特性を認識している職員が多く見られた	○
③ 使用パッドが更新されていない	居室のパッド補充表の更新状況を確認	更新頻度が少ないかデータの更新を忘れていた例が多くみられた	○

【重要要因の検証】

3つの項目についてユニットスタッフに聞き取りを行い3つとも重要要因と判定した。

対策の実施①

オムツ及びリハビリパンツのサイズの適正サイズ使用のためユニット職員へ下記の周知指導を行い適したサイズへの変更を実施した

サイズ設定のルール

- リハビリパンツのサイズはウエストではなく鼠径部周りの足の周囲とリハビリパンツの大きさが合うかでサイズを調整する。
ウエストサイズは伸縮性により余程の特異な差がなければ支障はない
- テープのサイズは腹部側のテープ貼付面の数字1に止め側が位置すればサイズが大きく、3であれば小さいため。止め側が2のくるサイズが適正である

【対策の実施①】

ユニ・チャームからの指導に基づいて委員がユニット職員へ説明、周知を行った

対策の実施③(パッド使用表の見直しと更新)

上記対策1, 2を実施の上、ユニット職員に対して下記の確認を実施した



種別	発注	発注日	発注枚数	発注金額
リハビリ用	22,900	22,900	22,900	22,900
オムツ	22,900	22,900	22,900	22,900
テープ	22,900	22,900	22,900	22,900
その他	22,900	22,900	22,900	22,900
合計	84,360	84,360	84,360	84,360

- オムツ発注の基礎情報となるパッド使用表について掲載されている物とPCのデータが整合しているか
- 対策1, 2実施に伴い変更された情報の変更及び掲載
- 更新が1か月以上されていない居室のパッド使用表の見直し

【対策の実施③】

居室内のパッド表とPCデータの比較を行いずれている物は物は修正、変更を行った

対策の立案

評価点数 ○5点 △3点 ×1点

重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	重要度	実現	効果	点数
① オムツの適正サイズを把握していない	基準を把握しているか確認する	把握した基準とサイズがあてていない場合は変更	あてていない場合は変更	○	○	○	1.5
② 排泄量に対してパッドがあてていない	パッドの吸収量と特性を把握しているか確認	利用者様に対してパッドがあてていないか確認	マニュアルの周知があてていない場合は変更	○	○	○	1.5
③ 使用パッドが更新されていない	使用パッドの更新を把握する	居室の使用状況上のデータを照合	あてていない場合は変更	△	○	○	1.3

いつ	どこで	誰が	何を	なぜ	どうする
① 3月下旬までに	各ユニットにて	居室担当職員が	リハビリパンツ・テープのサイズの適正性を確認	利用者様の体格に合っているか確認	体形にあったサイズへ変更を行う。
② 3月下旬までに	各ユニットにて	居室担当職員が	現在使用しているパッドを	現在の排泄量に適しているパッドか確認	マニュアルを作成し居室に適したパッドへ変更を行う。
③ 3月下旬までに	各ユニットにて	居室担当職員が	パッド補充表のデータを	居室掲示のパッド補充表と合わせて確認	データの更新を行う 12点以上を採用とする

【対策の立案】

要因の検証を基にスライドの通りの3次対策まで検討し3つの対策について5W1H実施

対策の実施②

各使用パッドごとの排泄量、スキンケアの特徴などを周知指導し、利用者ごとの排泄量及び皮膚状態に適したパッドへの変更を実施した。

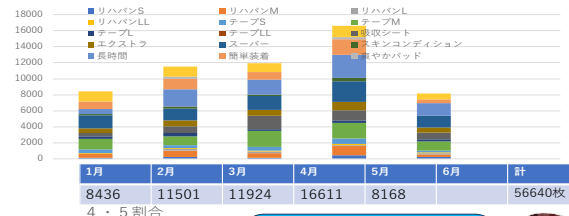


- 各利用者様の状況に応じたパッドと交換頻度になるようパッドを変更すること
- 簡単装着パッドと男女兼用パッドは吸収量はほぼ同量であること
- 長時間パッドと一晩中パッドは吸収量はほぼ同量であるが、一晩中パッドのほうが臀部に対する皮膚の負担軽減の特性があること
- エクストラパッドは1000m以上の排泄量のある利用者様を対象とすること
- 特に理由のある利用者様については排泄量ではなく個々の事由に適したパッドを使用するよう指導した

【対策の実施②】

マニュアルに基づいて、委員がユニット職員へ吸収量や大型パッドの特性の指導を行いました。

効果の確認



目標枚数
60300枚に対し
56640枚(5月時点)
目標未達成の見込み



【効果の確認①】

目標発注量60300枚に対し6月1日時点で56640枚の発注と今後の達成が難しい状況となった。
4.5割合は平均39.2%から41.4%へ増加しオムツの利用者が増えたこと、排便によるおむつの交換が多くなっていったことが原因と考えられる

効果の確認

使用金額

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
R5	439,516	264,110	469,351	376,032	630,104	441,005	2,620,118
R6	469,850	516,350	524,203	741,993	367,720		2,620,116

本TQM実施期間中、下記物品の値上げが実施された

品名	R5年11月時点	R6年5月時点
リベール	5701	6652 (116%)
M	5646	6678 (118%)
L	5590	6708 (120%)
LL	5646	6900 (122%)
エクストラ	5990	7080 (118%)
一晩中	4659	5376 (115%)
長時間	4313	4801 (111%)
簡易装着	3722	2506 (-8%)

【効果の確認②】

発注金額は値上げやテープタイプの発注量増加で6月分で昨年度を上回る事が予想されている

無形効果

職員の間で定期的なオムツの見直しや適宜排泄量に応じたパッドの変更の習慣が身に付いた

波及効果

オムツを外す取り組みに繋がった

標準化と管理の定着

なぜ (目的)	何を (項目)	誰が (担当)	どこで (場所)	どのように (方法)	いつ (期間)
標準化	オムツ及びパッドの使用検討	居室担当者	ユニット	排泄表のデータ及び業務を通じて	適宜
教育訓練	オムツ及びパッドの基本的知識	委員	ユニット	研修資料を使用して	年1回 入職時
歯止めと標準化	パッド表	委員	ユニット	PCデータを照らし実施状況をチェック	月1回

【標準化と管理の定着】

標準化は居室担当がパッド類の種類を適宜検討

教育は員会メンバーが年1回研修資料を用いて実施

実施状況のチェックは各委員が月に1回PCデータとパッド表の照合を行う

反省と今後の課題

手順	良かった点	悪かった点
テーマの選定	現在の物価高の情勢に適したものであった	
現状の把握と目標の設定	全体使用量が視覚的に把握する事ができた	もっと多角的な視点があっても良かった
活動計画作成		
要因の解析		客観的指標が足りなかった
対策の検討と実施	職員へ適正なオムツ類の使用基準を周知できた	独創的なアイデアにならなかった
効果の確認		目標が達成できなかった再検証の時間が足りなかった
標準化と管理の定着	確立できた	

【反省と今後の課題】

反省としては目標が達成できなかった所、対策の所で尿測などもしっかり入れ込む必要があった事、もう少し深掘りして新しい視点や独創的なアイデアが必要だったこと
未達だったが再検証の時間が無かった事と多くの反省点が残ったのでその辺りを検討しながら